

浦河港 本港地区 防波堤整備事業  
【便益算定根拠】

○陸上輸送コストの削減

防波堤の整備に伴うカンラン岩・飼料の陸上輸送費用の削減額を算出する。取扱貨物量を131千トン／年と予測。本プロジェクトの実施により、355百万円／年の輸送費用が削減可能となる。

〔輸送コストの削減(陸上)便益〕→

355 百万円/年

・陸上輸送費用削減便益(①+②)→

355 百万円/年

【陸上輸送費用 対象貨物:カンラン岩】

項目	With時	Without時
a: 貨物取扱量(千トン/年)	117	117
b: 輸送距離(km)	56	184
c: 輸送費用(円/台)	21,885	48,660
d: 使用台数(台)	11,700	11,700
e: 陸上輸送費用(千円/年)(c×d)	256,055	569,322
陸上輸送費用削減便益(計) (百万円/年)		313

①

【陸上輸送費用 対象貨物:飼料】

項目	With時	Without時
a: 貨物取扱量(千トン/年)	14	14
b: 輸送距離(km)	16	150
c: 輸送費用(円/台)	12,355	42,460
d: 使用台数(台)	1,400	1,400
e: 陸上輸送費用(千円/年)(c×d)	17,297	59,444
陸上輸送費用削減便益(計) (百万円/年)		42

②

○海難事故の減少

防波堤の整備に伴う海難事故による損失回避額を算出する。静穏度の向上による年間受け入れ増加回数を7.3回／年と予測。本プロジェクトの実施により、979百万円／年の海難事故の減少が可能となる。

〔海難事故の減少便益〕→

979 百万円/年

・海難事故の減少便益(①)→

979 百万円/年

【海難事故減少額 船型区分:500GT以上1,000GT未満】

項目	With時	Without時
a: 収容隻数(隻)	1	1
b: 年間荒天回数(回)	9.6	9.6
c: 避難区域年間稼働率(%)	100.0	98.0
d: 年間受入可能回数(回/年) {b-365日×(1-c)}	9.6	2.3
e: 損失額(千円/隻)	134,171	134,171
f: 海難回避額(千円/年)(d×e)	1,288,042	308,593
海難事故の減少便益(計) (百万円/年)		979

①